

ハリソン・ペイトン
コロラド州立大学

みなさん、こんにちは。私はコロラド州立大学のハリソン・ペイトンと申します。

2006年九月二十六日にあべしんぞうが新しい日本の総理大臣になりました。今日はあべ新内かくのせいじ的ほうしんとたいさくについてお話し、そして、私のいけんをのべたいと思います。

あべしんぞうは、世界における日本の地位を変えたいそうです。まず、あべしゅしょうは日本のけんぼうをかいせいしたいと思っています。今、日本にはぐんたいがありません。じえいたいがありますけど、アメリカよりもきぼが小さいから、ぐんたいを作って、きぼを大きくしたいです。今、日本のじえたいは二十五万二千人です。ぎじゅつ的にせんれんされています。とくにかいぐんがすぐれています。日本のじえたいのよさんはイギリスやドイツのぐんたいのよさんよりも大きいです。ぐんたいを持つ事で、彼は日本人に自信を持ってほしいです。また、彼は、日本のしどうりょくを世界に見せたいそうです。ぐんたいを作ることは、いい考えだと思います。日本は世界で二番目に大きいけいざい国ですから、せいじ的えいきょうを見せるために、もちろん、ぐんたいは必要な物です。日本のような国がぐんたいを持ってないなら、不合理かもしれません。

次に、前の総理大臣がやすくに神社に行ったことで中国と韓国と日本のかんけいが悪くなりました。あべさんはそれをかいぜんするつもりです。それは、すばらしい事です。あべさんは「韓国と中国は大切なアジアの国で、その強いしんらいかんけいはアジアや国際社会にも大切ですから、その二つの国とコミュニケーションをとることはじゅうようだと信じています。」と言いました。私はまったくさんせいです。できれば、北朝鮮と日本のかんけいもかいぜんできたら、いいと思います。

しかし、北朝鮮について、今、あべさんはキムジョンイルと北朝鮮のせいふの人達とこうしょうしたくありません。と言うのは七十年代に、北朝鮮は日本人をらちし、その事が今も大きい問題だからです。最近、あべさんはらちされた人の家族に会い、その問題をもっとりかいできるようになりました。私はあべさんがらち問題をぜったいに忘れていけないと思うので、彼が北朝鮮に話し合うきかいを持たないと言うきびしいたいどを持っている事は正しいと思います。とくに、十月九日のかくじっけんの後に、私はあべさんが北朝鮮にもっときびしくする必要があると思います。それは日本の弱さをみせないためです。日本が弱さを見せたら、北朝鮮はその弱さをりようするでしょう。また、北朝鮮がかくの研究やじっけんなどをもっとしたら、世界の国々も心配するにちがいありません。北朝鮮はとてもきけんですから日本や他の国がおこらせたら、かくでこうげきするかもし

れません。ですから、私は、あべさんがしょうらいに北朝鮮にたいしてどんな対
さくをとるか知りたいです。

私は、あべさんはすばらしい人だと思います。彼は日本にぐんたいをつくりたい
し、世界の中で日本をもっとじゅうような国にしたいし、北朝鮮との問題もかい
けつしたいです。日本はせいじ的にもぐんじ的にももっと大きくなれるので、私
はあべ新内かくと日本のしょうらいをたのしみにしています。そして、日本が世
界の中で今よりさらに大切な地位を占める事を願います。

ごせいちょうありがとうございました。